

「受賞者の声」

テーマ 「職業能力開発の実践」

副題 「専門課程学生の総合制作実習における

若年者ものづくり競技大会・技能五輪全国大会への取り組み」

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

九州職業能力開発大学校附属

川内職業能力開発短期大学校 園山 広

共著者 求職者支援訓練部訓練企画課 寺床 真悟

九州職業能力開発大学校 石井 将芸

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞という名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。

九州職業能力開発大学校の電気エネルギー制御科では、メカトロニクス技術者を育成するために、標準的な教育カリキュラムだけでなく、若年者ものづくり競技大会および技能五輪全国大会「メカトロニクス職種」の選手育成を通じ、メカトロニクス技能教育訓練を行っています。この技能競技大会は、現場で要求されるスキルを教育するために、様々な企業や教育訓練施設において広く活用され、既に一定の評価が得られています。また、2人でペアを組んで行う競技のため、チームワーク力、コミュニケーション力の向上に繋がり、競技大会に向けた練習や大会に出場した経験を通じて、課題発見・分析能力、計画推進力などのヒューマンスキル、コンセプチュアルスキルの成長が期待できます。

さらに、対象の選手だけの能力向上だけでなく、実際は、周りの学生も選手の頑張りや結果を肌で感じることで、同じように技術者としての意識づくりができていくように、普段の授業課題に取り組む姿勢を見ていると感ずるところです。指導者側においても、企業が必要としている新しい技術動向、取り組み姿勢や訓練状況等の情報を得ることができ、そのことを授業内容にフィードバックさせ、より実践的な技術教育を実施することができています。

長年、この競技大会の選手育成に取り組む中で、常に心掛けているのは、選手と指導者が一体となることです。厳しい指導をすることもありますが、時には、選手のパワーにこちらが刺激を受けることもあ

ります。今まで、続けてこられたのも、学生の成長した姿、上位に入賞した時のあの学生の何とも言えない表情、学生にとっても私どもにとっても、かけがえのない経験になっているからだと思います。

また、長年、競技会に参加することができたのも所属系の協力、学校の支援があつてのことです。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

今後も引き続き、学生指導に力を注いでまいりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。